

平成 30 年度全国学力・学習状況調査 結果分析・活用について

学校名	大磯町立国府小学校
-----	-----------

1 調査結果の分析で明らかになったこと

	習得の状況が良好であると判断できるもの	指導の改善・充実が求められるもの
国 語	<ul style="list-style-type: none"> ・相手や目的に応じ、自分が伝えたいことについて、事例などを挙げながら筋道を立てて話すことができる。 ・日常生活で使われている慣用句の意味を理解して、使うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目的や意図に応じ、内容の中心を明確にして、詳しく書くこと。 ・目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらか読むこと。
算 数	<ul style="list-style-type: none"> ・異種の二つの量のうち、一方の量がそろっているときの混み具合の比べ方を理解している。 ・180° の角の大きさを理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・小数の除法の意味について理解すること。 ・折れ線グラフの変化の特徴を読み取ること。 ・棒グラフと帯グラフから読み取ることができることを、適切に判断すること。
理 科	<ul style="list-style-type: none"> ・堆積作用について、科学的な言葉や概念を理解している。 ・二つの異なる方法の実験結果を分析して考察できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・実験結果を基に分析して考察した内容を記述すること。 ・学んだことを自然の事物・現象（物の溶け方）へ適用すること。

質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ・自己有用感の向上が見られ、将来の夢や目標もしっかりと持っている。探究心も高く、社会や自然の事象への興味・関心も高い。 ・地域との関わりが多いと感じ、ボランティア活動や行事への参加率も高い。人の役に立ちたいと社会貢献をはっきり捉えている子も多く、地域ふれあい事業のもと地域密着型の子育てが行われていることが垣間見られる。 ・自分の考えを周りの人に説明したり、発表したりすること、うまく伝わるよう資料や文章、話の組み立てなどを工夫することを苦手と感じている子が多い。主体的・対話的な学びに慣れていない傾向にある。
-----	---

2 学校運営及び授業の充実に向けた取り組み

<ul style="list-style-type: none"> ・言葉や文脈から、文章で使われる言語や漢字を含む語彙の理解と習得、文章の読解力の向上に、複数の本や文章を読み重ねたり、読み比べたりと、効果的な読み方の活用などを試みる。また複数の情報を詳しく考察したり読み取ったりする能力の向上に、具体的操作や実験、観察など、積極的に関わられる学習活動の展開に努める。 ・さらに話し合い活動の活性化を図るなどして、資料や文章、話の組み立てなどを工夫・充実できるよう計画的に準備させることにより学習意欲を高め、自分の考えを説明したり発表したりすることへの抵抗を減らし、主体的な学びを育んでいく。 ・地域人材をより活用し、より充実した学習環境を整える学校運営に取り組む。

3 家庭（地域）へのお知らせ ※取り組んでいただきたい内容や知っておいてほしい内容等

<ul style="list-style-type: none"> ・知識の定着に課題があり、問題を理解するのに時間がかかる傾向にあります。引き続き、家庭学習の習慣化や復習の継続をお願いします。また社会や自然への興味、自己有用感が高いほど、教科の理解度も高い結果が出ています。折に触れニュースや生活等を話題にすると多方面に関心が持てるようになると思います。 ・地域との関わり、家族との関わりを大切に思っている子供の割合が高い結果が出ています。児童が地域、人との関わりに厚みが出せるよう、これからもご支援ご協力をよろしくお願いします。また、スポーツをする子の割合が伸び悩んでいます。学校としても引き続き、体力作りとして、外遊びや運動を奨励していきたいと考えていますので、ご家庭でも機会を捉えご指導をお願いします。
--